

↓大きな声で校歌を披露する児童ら



↓中橋教育長から校旗が手渡される



獅子島地区の幣串、獅子島小学校が統合し、4月8日、新「獅子島小学校」の開校式がありました。

新「獅子島小学校」が開校

心機一転

新校舎は、片側にある獅子島中学校の敷地内に総事業費2億6千900万円をかけ建設されました。

同校は、町内初の全室冷暖房完備となっており、主に1階は幼稚園で、2階が小学校となっています。

開校式で、川添健町長は「児童の皆さんには伝統のある幣串、獅子島両小学校の素晴らしい伝統と、思いやりを受け継ぎ、すばらしい教育活動が展開されることを期待します」と式辞を述べました。

日高好治校長は「統合してよかったと思うような学校にしましょう。家庭で育ち、学校で学び、地域で伸び、大きな荒波を乗り越えられる子に成長してください」とあいさつしました。式典では、中橋藤七教育長から日高校長と6年生の湯元七海さんに校旗が手渡されたほか、最後に児童全員で新しい校歌を披露しました。



↑獅子島中学校内に建設された新「獅子島小学校」

ピッカピカの新1年生 町内の小・中学校で入学式

4月8日、町内15の小・中学校で入学式が行われました。第1回獅子島小・中学校合同入学式では、小学校に4人、中学校に3人が真新しい制服に身を包み、門をくぐりました。

川添健町長は「小学生になった1年生はピッカピカの校舎で勉強ができます。先生の言うことをしっかりと聞いて勉強し、休み時間は元気いっぱい遊んでください。中学校に入学した生徒の皆さんは、3年間で心と体は大

きく成長します。夢と情熱を持って行動すれば、必ず成果があらわれます」と祝辞を述べました。

新生を代表して、中学1年の荒田桃子さんは「私には医者になりたい夢があります。そのためにはたくさんの経験と努力が必要です。勉強と部活動を両立して、夢を叶えられるように一歩一歩前進していきたいです」と誓いの言葉を述べました。



↑誓いの言葉を述べる荒田桃子さん



↑真新しい制服に身を包んだ新1年生



↑祝辞を述べる川添健町長